

安全上の注意

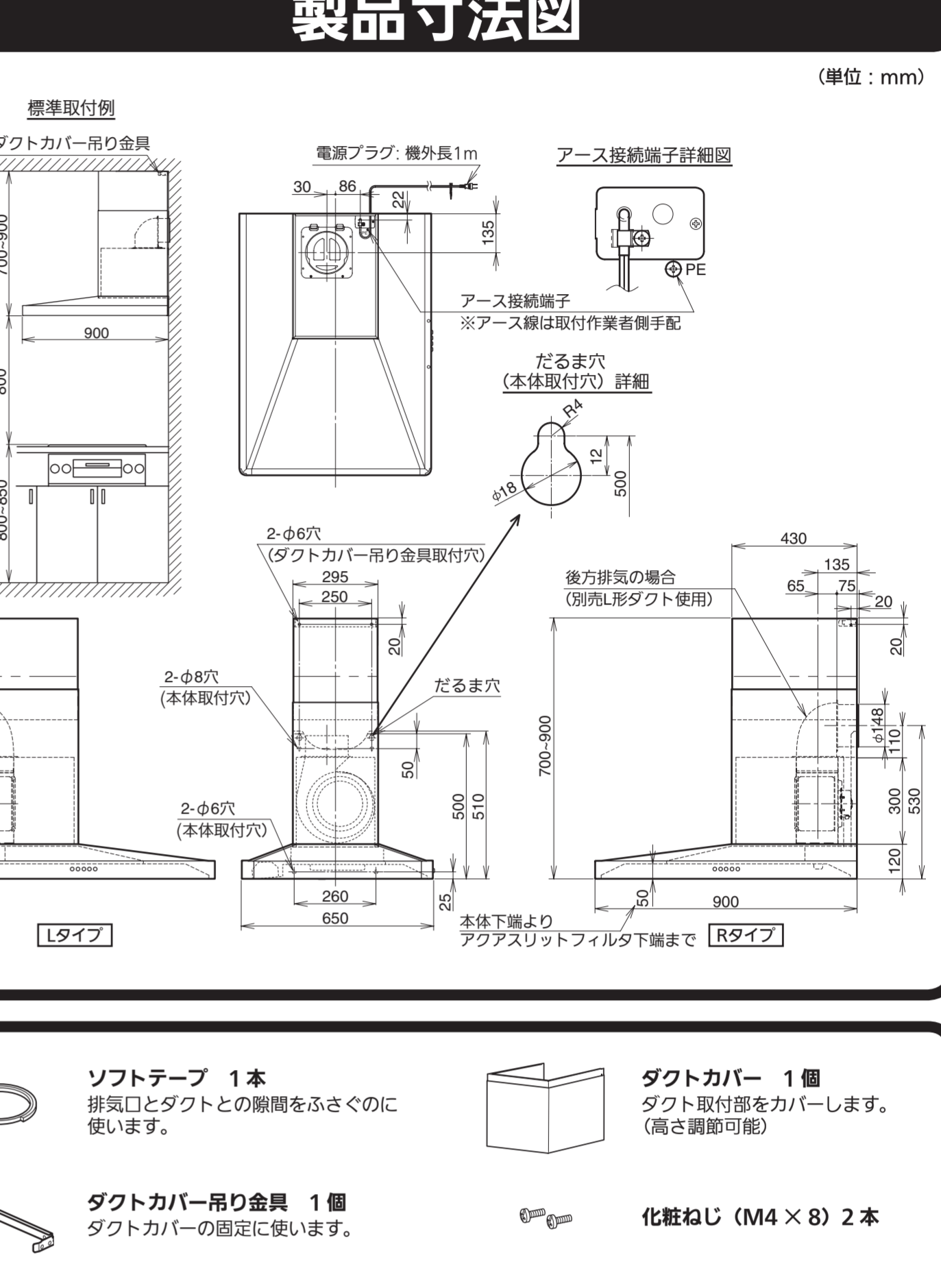
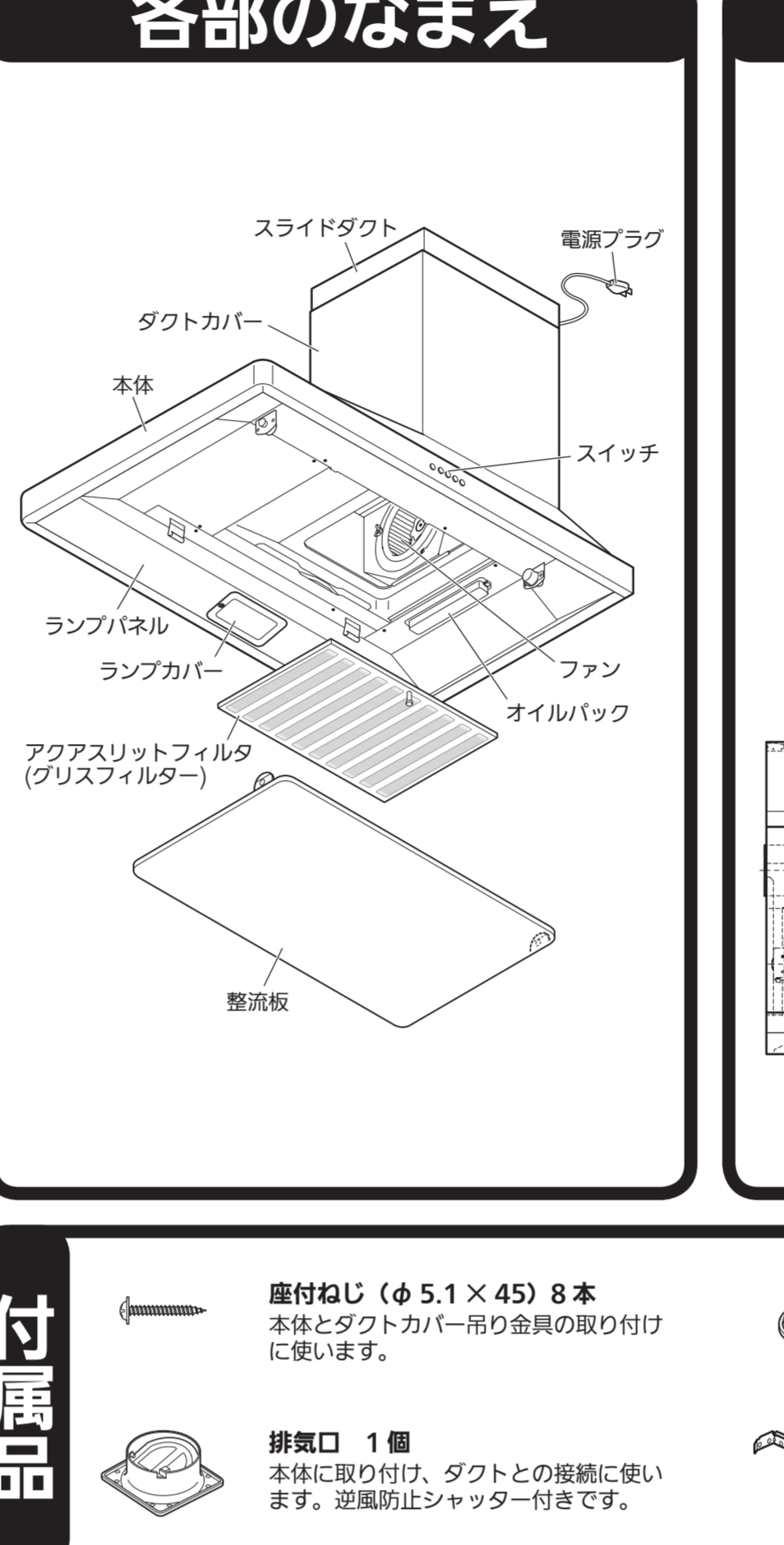
● 取り付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
● ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付けて、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を示すために、誤った取り扱いをしますと生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。
お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。
絵表示の例
● 記号は行為を禁止する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

警告
● 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 配線工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● アースを確実に取り付けること
● 本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用し可燃物を覆うこと
● レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
● レンジフードの取り付けは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないように取り付けること
● 交流100V以外では使用しないこと
● 自然排気型のストープを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をすること

注意
● 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
● 運転中は指や物を絶対に入れないこと
● 周囲温度が40℃以上になる所には取り付けないこと
● ファンや部品の取り付けは確実にこなうこと
● レンジフードの取り付けは、十分な強度のあるところを選んで確実にこなうこと

取り付け上のお願い
● 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。
● ダクトの不燃処理について
● 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。
● 屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は400m²/h時50Pa以下のものをご使用ください。
● 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいじめるく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。
● 製品は調理機器の真上に取り付けてください。
● レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けしないでください。
● 電源は専用のコンセントおよびブレーカーを設けてください。
● 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
● 周囲温度が40℃以上になる所には取り付けないこと

取り付け前の調査と準備
注意
● レンジフードの取り付けは、十分な強度のあるところを選んで確実にこなうこと
1 取付面の強度確認
2 別売部品の準備
3 標準取付法
4 電源コンセント・ブレーカー

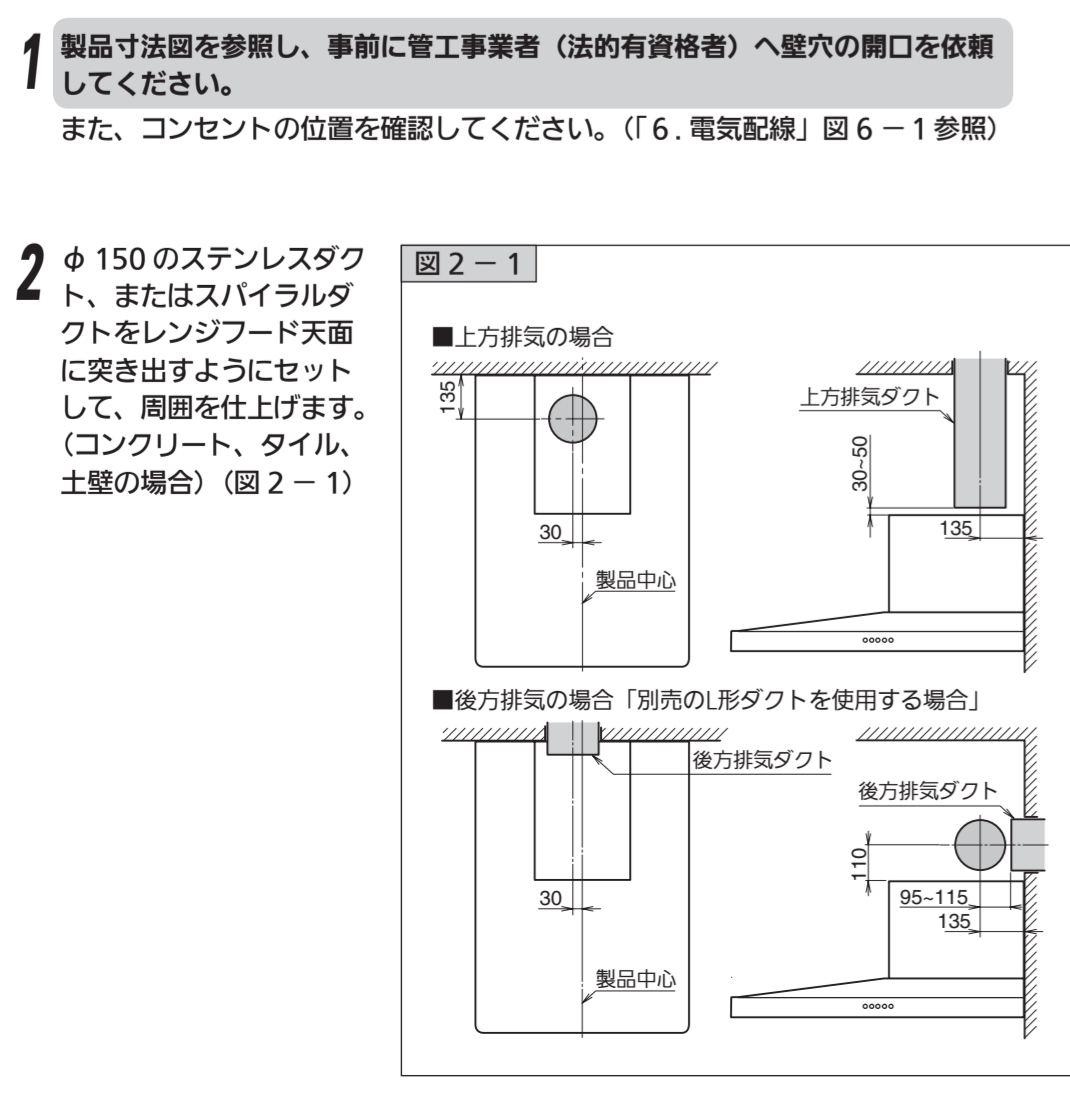


1. 付属品の確認・本体の準備

注意
● 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること
● 梱包箱から付属品を取り出し、付属品一覧により不足がないか確認してください。
● 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。
● 保護用のクッション材と固定テープは「4. 本体の取り付け」3項（本体だるま穴の下穴に取付ねじで固定）までキズ・破損防止のためははずさないでください。
● 床で作業する場合は、必ずシートを敷いた上で作業をおこなってください。

2. 排気方向の決定

警告
● メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように取り付けること
● 排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● 本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用し可燃物を覆うこと
● 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
● 周囲温度が40℃以上になる所には取り付けないこと



3. 排気用部品の準備

■ 上方排気の場合（図3-1）
排気口に付属品のソフトテープを貼り付けます。
■ 後方排気の場合（図3-2）（別売のL形ダクトを使用する場合）
排気口に付属品のソフトテープを貼り、別売のL形ダクトに取り付けます。
● 正しい接続例
● 誤った接続例

4. 本体の取り付け

注意
● 本体の取り付けは十分な強度のあるところを選んで確実にこなうこと
1 だるま穴用座付ねじ2本をねじ込みます。
2 本体を引っ掛け固定します。
3 保護用のクッション材と固定テープをはずします。
4 上方排気の場合（図5-2）
風漏れ防止のテーピング（アルミテープ）をおこなってください。

取り付けかた

4 整流板をはずします。
5 オイルパックをアークスリットフィルタ側へはさずします。
6 アークスリットフィルタをはずします。
7 内面パネル（後板）をはずします。
8 本体を内側から固定します。
5.1 上方排気の場合（図5-2）
風漏れ防止のテーピング（アルミテープ）をおこなってください。

6. 電気配線

警告
● 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 交流100V以外では使用しないこと
● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● アースを確実に取り付けること
● コンセントは、JIS C8303 2極差込接続器 15A 125Vをご使用ください。
● コンセントは電源コードの長さを考慮し、ダクトカバーのサイズに合わせて右図の範囲内に設置してください。
● 必ずアース（D種接地工事）をしてください。
● アース線は取付作業側にて手配してください。
● 分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。
● 電源は専用のコンセントおよびブレーカーを設けてください。

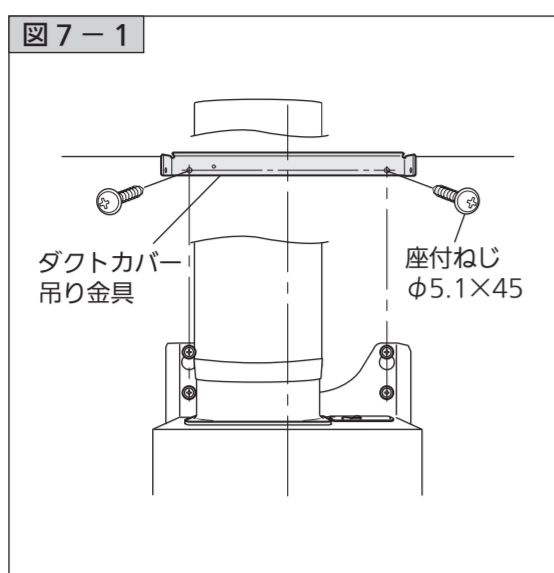
裏面に続きます

こちら側は裏面です。必ず表面からお読みになり、正しく取り付けをおこなってください。
安全上のご注意・取り付け前の調査と準備・取り付け上のご注意は表面をご覧ください。

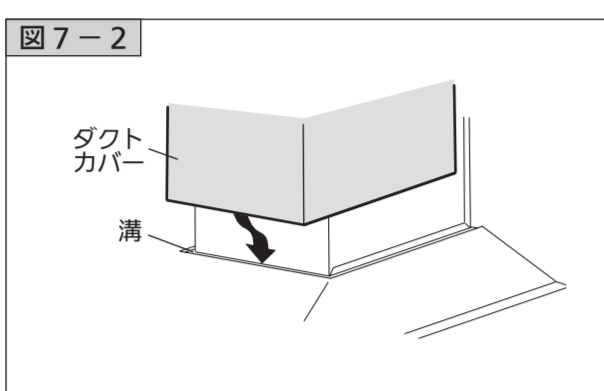
取り付けかた (つづき)

7. ダクトカバーの取り付け

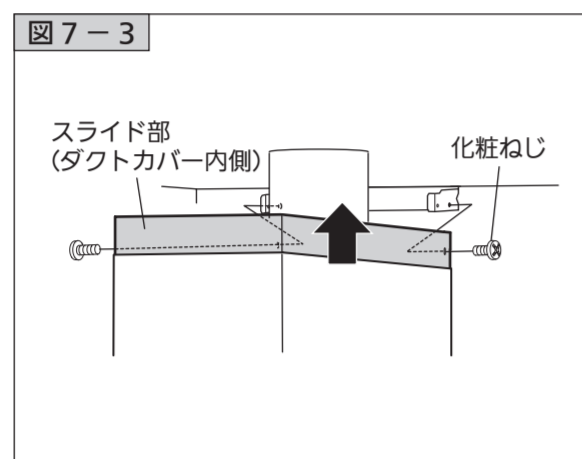
1 ダクトカバー吊り金具を取り付けます。(図7-1)
ダクトカバー吊り金具を産付ねじ(φ5.1×45)2本で取り付けます。
お願い
レンジフードのセンターに合わせて、注意しながら取り付けてください。



2 ダクトカバーを本体に取り付けます。(図7-2)
本体の溝部分に合わせてダクトカバーを差し込み、本体に取り付けます。



3 ダクトカバースライド部をダクトカバー吊り金具に固定します。(図7-3)
ダクトカバーの内側スライド部を天井まで引き上げ、付属品の化粧ねじ2本でダクトカバー吊り金具に取り付けます。
お願い
ダクトカバーは壁面、天井面にコーキングをしないでください。



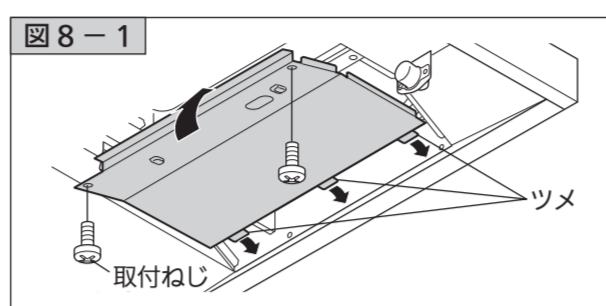
8. 組み立て

⚠ 注意

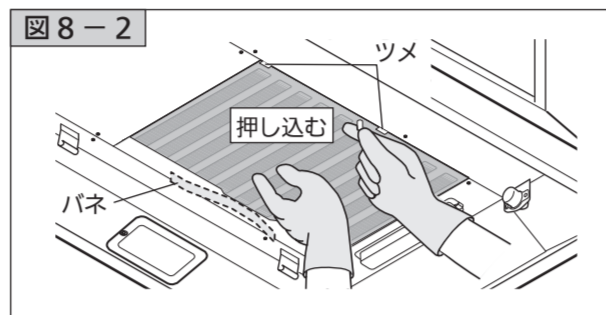
● 部品の取り付けは確実にこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります

取付注意

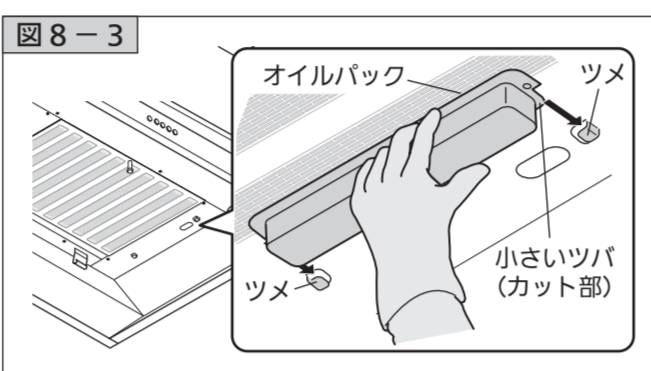
1 内面パネル(後板)をはずした時と逆の手順で取り付けます。(図8-1)



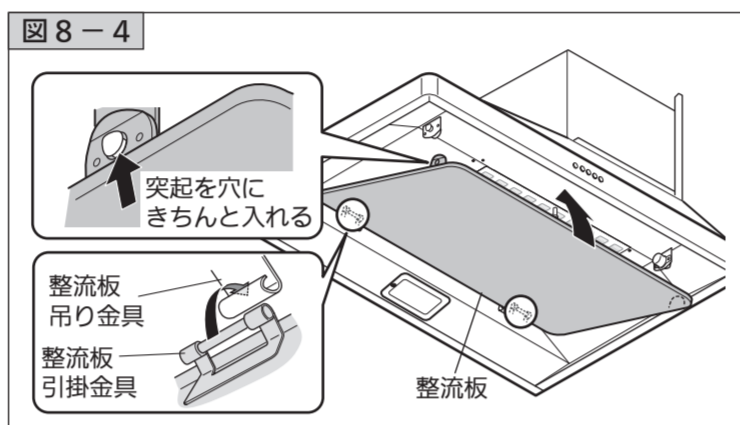
2 アクアスリットフィルタを取り付けます。(図8-2)
アクアスリットフィルタをパネルに当てて押し込み、2ヶ所のツメに引っ掛けます。



3 オイルパックを取り付けます。(図8-3)
オイルパック両端の小さいツバ(カット部)をツメに引っ掛け、突き当たるまで押し込みます。



4 整流板を取り付けます。(図8-4)
整流板引掛金具を本体の整流板吊り金具に引っ掛けます。前線を持ち上げてパチンと音がするまで押し込んでください。



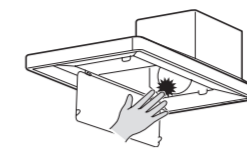
9. 試運転

⚠ 注意

● 運転中は指や物を絶対に入れないこと
けがをするおそれがあります


接触注意

■ 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。
スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
■ 運転時、各速風の排気が正しくおこなわれていることを確認してください。
■ 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
■ 屋外の排気出口から排気されていることを確認してください。
■ 取り付けまたは各種工事にて発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますのでご注意ください。



10. お客様への説明

■ 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
■ 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。

【製造元】  富士工業株式会社

本社・営業部 〒252-0206 相模原市中央区湘野辺2丁目1-9
TEL 042(768)3754 (営業部)